

平成19年度 第1回千葉市立博物館協議会議事録

- 1 日 時：平成19年7月5日(木) 午後1時30分～午後3時00分
- 2 場 所：千葉ポートサイドタワー 12階 第1会議室
- 3 出席者：(委員) 委員長他5名出席(10名中6名)
委員長 岡本 東三
副委員長 西川 明
委員 鷹野 敏明、千代 美恵子、西本 豊弘、福田 豊彦
(事務局)
生涯学習部長 宮野 光正
生涯学習振興課 本庄 賢一、倉田 義広
加曽利貝塚博物館 伊場 和良、村田 六郎太、飛田 正美
郷土博物館 西郡 哲、丸井 敬司、若菜 三郎、伊原 茂行

4 議 題

(1) 平成19年度博物館事業について

加曽利貝塚博物館
郷土博物館

(2) その他

5 議事の概要

(1) 平成19年度博物館事業について

両博物館における平成19年度の事業計画を各事業ごとに説明し、委員より意見を付ける。

(2) その他

加曽利貝塚博物館は、「復原住居再建の経緯と経過」「北貝塚住居跡観覧施設の藻類対策」について説明し、郷土博物館は、「展示リニューアル」について説明し、委員より意見を付ける。

6 会議経過

午後1時30分、委員10名中6名着席、青木委員・池田委員・高山委員・武田委員は欠席。

西郡郷土博物館長から、千葉市立博物館協議会運営規則第3条の規定により、この会議が成立していることが告げられ開会した。

宮野部長の教育委員会挨拶の後、委員の互選により岡本委員が委員長に西川委員が副委員長に選任された。

岡本委員長の挨拶の後、本会議の議事録署名人として千代委員を指名した。

岡本委員長を議長として、議事が進行した。

議事(1) 平成19年度博物館事業について

< 説 明 >

飛田・若菜係長 はじめに、加曽利貝塚博物館における維持管理事業・資料収集事業・調査研究事業・展示事業・教育普及事業・博物館整備事業・その他の事業について飛田係長より説明し、引き続き、郷土博物館における維持管理事業・資料収

集事業・調査研究事業・展示事業・教育普及事業・博物館整備事業・天文普及事業・市史編纂事業・その他の事業について若菜係長より説明する。

岡本委員長 事務局より説明がありました。ご意見はありませんか。

西本委員 たくさん事業をやっておられて、いいことだと思います。加曽利では、企画展の時期が1・2月が多いが、観客が一番少なく、年度末の忙しい時期なので、利用者のことを考え、夏を中心に春から秋のいい時期を考えたらどうでしょう。

事務局
(村田副館長) 最初企画展を導入した時、資料を1月に借りて3月に返すと、いいものが借りられ、運送経費が安く済むということで、入館者の減るこの時期に、てこ入れの意味で開催しました。いい時期ですと、運搬費が倍になり、いいものはブッキングします。しかし、今後は秋の開催も検討していきたい。

岡本委員長 今年、日程も決まっているので、予算もあるが検討をお願いしたい。

千代委員 加曽利貝塚博物館に、5月の連休の月曜日に観覧に行きましたら休館でした。親御さんが子どもを連れて行けるのは連休中とかだと思いますが、いかがでしょう。開館していれば、入館者も増えると思います。

事務局
(村田副館長) 休館日は、規則で定められていますが、委員会が必要と認める時は、開館できることになっています。加曽利貝塚博物館では、7人でローテーション勤務をしていますが、祭日をどのように開けるかは検討が必要です。どこかで無理をすると、どこかでへこみます。所管課の生涯学習振興課と調整を図りながら検討していきたいと思います。ゴールデンウィーク期間だけの問題でなく、大変重い問題だと理解しています。
加曽利貝塚博物館は、入り口から博物館まで、大変距離がありますので、休館表示を公園入口にしております。

岡本委員長 日・月曜が連休の場合、月曜は開けて、翌日休館が多いですが。

事務局
(村田副館長) 博物館は、月曜日が休館で月曜が祝日の場合、翌日も休館となります。

岡本委員長 人員の問題もありますが、なんのための博物館であるのかを考えた場合、日・月と開館するご時世なので、連休の後に休館を設定する等、ご配慮をお願いしたい。

宮野部長 市民から休館日についての要望が増えています。市の施設や他自治体の施設では、指定管理者制度の導入や通年開館と言うことで、図書館や美術館は、開館するようになって、徐々に月曜休館の考えが変わってきています。博物

館については、規則は永遠でなく、勤務体制を配慮しなければいけないが、月曜しか休みのない人もいますので、公平に利用できるように、サービスの向上を考えなければいけない時代だと思っています。他の施設とのバランスを取りながら見直しをしていきたい。

西川委員 加曽利では、日本の歴史公園100選に選定されましたが、お祝いとかイベントとかの記念事業があっても良いと考えるが。

事務局
(村田副館長) ちょうど復原住居の再建事業を進めており、新聞各紙の取材が来ています。そういう中で選定されましたので、お祭りさわぎでなく、学習活動の中で、展開していきたいと考えています。

岡本委員長 天文事業は郷土博物館でおこなっていた、全ての事業が科学館に移管ですか。

事務局
(丸井副館長) 基本的に天文事業移管です。

岡本委員長 そのままの移管か、科学館で新たに検討して新機軸を打ち出していくのですか。

宮野部長 基本的には、継続が原則です。場所的問題やスペースの問題等さまざまな条件がありますが、科学館の指定管理者が引き継ぎ、新しい科学館に相応しい見直しを加えながら継続していきます。現在、郷土博物館で企画展「お城のプラネタリウム40年の軌跡」を開催していますが、この歴史的資料は引き続き市が管理します。一部を美術館で保管します。科学館が企画展での使用の申し出があった場合、一時的な貸出を考えています。

鷹野委員 科学館では、展示は常設でおこなっていきますか。

宮野部長 常設での展示は考えていません。年に1度の企画展の時の展示を考えています。10月20日科学館がオープンしますが、翌月市美術館で科学館開設記念イベントとして、星に関する絵画展を開催します。そういう際に、貴重な天文資料の展示を考えています。

鷹野委員 資料は、基本的には美術館で保管ですか。

宮野部長 貴重な資料を美術館で保管します。

議事(2)その他 について

事務局
(西郡館長) 博物館の運営について、ご意見をいただきたい点がございませぬ。加曽利貝塚博物館では「復原住居再建の経緯と経過」「北貝塚住居跡観覧施設

の藻類対策」について、郷土博物館では「展示リニューアル」についてでございます。担当より説明いたします。

< 説 明 >

事務局 はじめに、加曽利貝塚博物館における「復原住居再建の経緯と経過」「北貝塚住居跡観覧施設の藻類対策」について飛田係長より説明し、引き続き、郷土博物館における「展示リニューアル」について丸井副館長より説明する。

岡本委員長 郷土博物館の改修は来年度からですか。

事務局 (丸井副館長) 今年度は実施設計を行ないます。4階をどのような展示室にするか設計をおこない、同時に展示の設計をします。改修工事は来年度行い、21年度リニューアルオープンの予定です。

福田委員 近世と中世の中で、近いところで都市的要素がどう出るか歴史の大きな問題となります。これについては、展示計画の進行中に教えて頂きたい。なにか、協力できることは協力します。

西川委員 1階が、いきなり古代では、違和感がある。亥鼻の博物館に行くと、千葉の町がどのように創られたかが、わかるような工夫をお願いしたい。

岡本委員長 歴史民俗博物館では、どこでも通史展示をしている、これと同じでは意味がない。来年いい案になるようお願いしたい。

宮野部長 この案を市に提案したコンセプトを簡単に説明します。佐倉の歴史民俗博物館の展示の仕方は、分かりやすく説得力があると、以前から思っていました。プラネタリウム廃止後の郷土博物館は、千葉市の生い立ちがわかることが、使命だと思えます。千葉市民は、他縣市から来た人が多いので、簡単な千葉市の歴史が分かる施設が必要だと思っています。千葉市の歴史を、原始・古代から自然な時間の流れに沿った展示ができればよいと考えています。原始・古代については、加曽利貝塚博物館や埋蔵文化財センターがありますが、両施設は研究を深めたり、知識を追い求める方が訪れていただき、知的満足度を深めていただきたい。近世については、御茶屋御殿の整備は進んでいませんが、5か年計画で少しずつ着手していく予定です。こうした施設は、原始・古代から近世に至るまで、各年代に応じて、郷土博物館とは違うやや専門的博物館と言うような体系を考え、さらに各区に、例えば生浜町役場や歴史的な文化財との連携を配慮しながら整理していきたいと考えています。郷土博物館の展示は、このようなコンセプトでリニューアルしていきたいと考えています。

岡本委員長 そういう意味では、千葉市の文化財や歴史を含め、情報が共有できるような、連携ができるような施設にするということですね。

- 西本委員 リニューアルは、重要だと思うが、千葉市は歴博のような立場をとるのか、最近の都市型博物館、区博物館のような博物館、どちらの立場をとるか考えていただきたい。見学者が、1階から5階まで上がってこれるのか、また、中身はよいが、全体の展示、スペース、配列、コンセプトの持っていくかたについては、このままでは古い博物館、古い感覚です。工夫したほうが良い。問題は、新しい千葉市民が入館して、どう感じるかというところですね。
- 岡本委員長 新しい全体的な歴史情報センターみたいなもので、情報提供するような工夫を考えていただきたい。
- 西川委員 1階の入り方、非常に大切です。市民にとっての感じ方ですね。
- 福田委員 古代から入ると、どうですかねえ。
- 宮野部長 市史編纂会議で、千葉市全体の歴史をわかりやすく解説した、通史的歴史読本が必要ではないかと言われている。これもリニューアルに合わせて手がけていきたい。展示配列や展示品については、予算要望のなかで、いただいた意見を反映できるように検討していきたい。
- 福田委員 大変結構ですが、古代が最初だと疲れてしまう。何を重点にするのか、踏み込んで考えていくと出てくる。千葉とは何かを、市民がピンとくるように。源氏の鎌倉幕府から千葉が出てくるところから始めるても良い。各時代同じ量が必要でなく、何を重点にするのか、特徴は何かを考えていただきたい。
- 宮野部長 通史が基本ですが、郷土博物館では中世研究を長くやっているんで、これを中心に考えています。通史と言ってもメリハリをつけ、古代を中心にするつもりではありません。
- 鷹野委員 展示の計画や予算化は、どこでおこなうのですか。そのための協議会等を設立するのですか。
- 宮野部長 所管課の郷土博物館が生涯学習振興課と協議しながらおこないます。
- 岡本委員長 文化行政が再編されましたが、全体的な、もう少し中期的な両博物館の見通し等、今回の話は将来を見据えた、展望が見える議題でしたが、そのように毎年の事業計画だけでなく、方針等を提案していただき夢のある話ができればと思います。
- 宮野部長 科学館に天文事業を移管しますと、今後天文について協議会の議題に乗らなくなりますが、委員の皆様のご意見を伺います。

- 岡本委員長 今まで積み上げてきたものが、この協議会を離れて何処かへ行くと言うイメージですね。
- 鷹野委員 郷土博物館の天文事業を科学館に移行するわけですね。継続的に市民の天文・宇宙に関する興味を育む役割を郷土博物館がやってきたので、それを教育委員会が責任を持って指定管理者に委託し、やらせると言うスタンスですね。その時、この協議会がどういう役割をするかということですか。
- 宮野部長 このままですと、天文に関することがらが欠落するので、ご意見を伺いたい。協議会については、想定していなかったもので、また天文に関し別の協議会を設立する余裕もありません。
- 鷹野委員 科学館の事業は、天文だけに限らず他にも含めて発展してできたもので、生涯学習振興課が所管するものですね。指定管理者が運営しているところの協議会については存じませんが、何らかのかたちで生涯学習振興課が、業務がちゃんとやっているか方向性をつけたい時、科学館の協議会はどんな風になるのですか。科学館に協議会があればこの場で審議するのは違うと思います。
- 宮野部長 条例の趣旨から言うと、所管が離れると議題にできなくなります。建前から行くと、そのようになりますが、ご了解いただけますか。今までの経緯から、継続して情報提供をおこない、科学館ではこのようなことをやっていくと報告していったほうが良いか。今後、指定管理者と生涯学習振興課で運営協議会を立ち上げる予定です。そこでは、事業計画を立てたり、どのような運営を進めるのかという事について、市がチェックしていくので、協議の場となります。博物館協議会で諮るのは違うと思いますが、情報提供がなくなって、いかがかと思いました。
- 岡本委員長 文化行政が再編されたが、文化施設は2つの博物館だけで成り立っている訳ではない。科学館や美術館その他の施設もあるわけで、有機的に機能できるような発展的な場を考えないと、バラバラになっていくので、新たな方向性を模索してください。科学館については、離れていくので、この場では議論できません。市が、行政の立場で指定管理者に意見を言って、行政指導をしていくしかない。
- 鷹野委員 市と科学館で、組織を立ち上げるということなので、そちらでやっていただき、この場で審議する必要はないと思います。
- 宮野部長 ありがとうございます。

議長から他の意見を求めたが、他に意見がなく質疑終了となった。

事務局
(丸井副館長) 本日の博物館協議会にあたり、加曽利貝塚博物館の伊場館長が閉会を申し上げます。

事務局
(伊場館長) 本日いただきましたご指摘・ご意見の内容を、今後の事業運営に反映させながら、博物館事業の更なる充実に努めたい。これをもちまして、平成19年度第1回千葉市立博物館協議会を閉会とします。

議事録署名人 千代 美恵子
(確定承認委員)